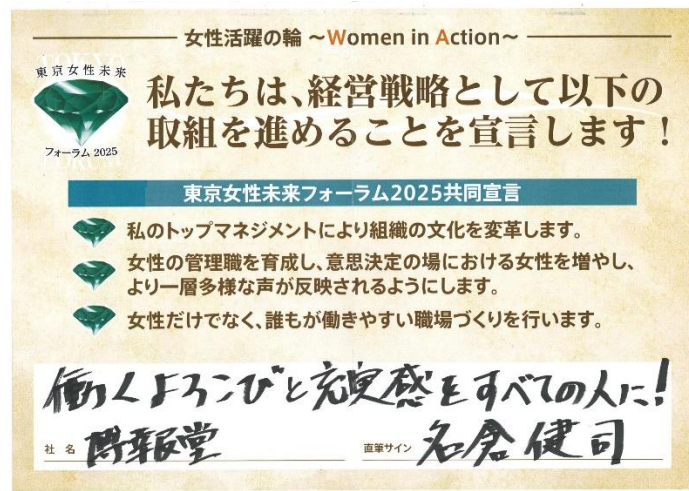


2026年4月10日

博報堂、東京都が推進する「東京女性未来フォーラム」の共同宣言に賛同

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：名倉健司、以下 博報堂）は、東京都が推進する、女性活躍・女性登用に向けた経営者の意識や職場の文化の変革を促す社会的なムーブメント醸成を目的とした「東京女性未来フォーラム」の共同宣言※¹に賛同しました。



博報堂D Yグループでは、DE&I（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）方針※²を定め、生活者である社員一人ひとりが、自らのクリエイティビティを通じて生活者や社会のさまざまなテーマとつながり、未来をつくる存在として、あらゆる人が自分らしくいきいきと活躍できる社会の実現を目指しています。

博報堂では、多様な個性を持った人材が集まり、チームを組むことで新たな価値を共創する「粒ぞろいより粒ちがい」という考え方を大切にしてきました。性別や年齢に関係なく、誰もが平等にアイデアを出し合える環境こそがイノベーションの土台です。

この「粒ちがい」のカルチャーを組織全体で体現し、あらゆる社員がクリエイティビティを最大限に発揮できる環境を構築するためには、意思決定の場においても多様性が確保されていることが重要です。当社ではDE&Iの推進において、特にキャリア形成やリーダー／マネジメント層におけるジェンダーギャップの解消を、重要な経営課題の一つと位置づけています。現在、2030年度までに女性管理職比率を博報堂D Yグループ全体で30%とする目標を掲げ、各種、取組みを進めています。今回の共同宣言への賛同は、ジェンダー平等へのコミットメントを可視化し、社内の意識・風土改革をさらに加速させるものです。

■ ジェンダー平等に向けた主な取組み

- 両立支援施策『huug（ハーグ）』：育児や介護などの状況にあっても、すべての社員が、自らのクリエイティビティを発揮しながら安心して挑戦やキャリア形成できるよう、両立支援施策『huug』のもとにさまざまな制度や支援策の整備を行っています。

- ワークスタイル変革：「はたらくと人生を、もっといい関係に。」を掲げ、繁忙改善・業務プロセス進化・クリエイティビティ創出の3つのアプローチで、働く”質”とエンゲージメントを高める本質的な働き方のアップデートを進めています。
- 女性のキャリアに関するワークショップ：当社で働く多様な女性社員同士がつながり、ライフイベントと仕事の両立やキャリアの悩みなどを共有しながら、気づき、考える場を定期的に提供しています。また、女性に限らず、パパ・ママ社員による育児との両立に関する座談会や、社内の国家資格キャリアコンサルタントによる個別相談など、キャリア形成への多面的なサポートを行っています。
- 管理職向けアンコンシャスバイアス研修：現管理職を対象に、育成、登用、評価など人材マネジメントの場面でも起こりうる、自身の無意識の思い込みや偏ったものの見方に気づき、多様なメンバーと組織の成長を後押しするスキル習得を推進しています。
- リーダーメンタリングプログラム：次世代のリーダー育成を目的に、社内外でさまざまな経験を積んできた女性リーダーとのメンタリング機会を提供し、キャリアビジョンの形成をサポートしています。また、メンティの上長にも女性部下マネジメント研修を通じて対話やコーチングのスキル向上を進めています。

博報堂は、多様な個性を持つ「粒ちがい」の社員がクリエイティビティを最大限に発揮し、挑戦や持続的にキャリア形成できる環境構築に向け、今後も取組みを続けてまいります。

※1 東京女性未来フォーラム共同宣言：<https://hataraku-josei.metro.tokyo.lg.jp/business/>

※2 博報堂D Yグループ DE&I 方針：https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/csr/social/diversity_inclusion/

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 玉・西尾 koho.mail@hakuhodo.co.jp